

令和7年度第1回定時評議員会議事録

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和7年6月26日（木曜日）
15時00分から16時05分まで
- 2 場 所 新宿NSビル30階スカイカンファレンスルーム3・4
- 3 評議員現在数 12名
- 4 定 足 数 7名（過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 10名（評議員）
植田昌利、内野雅晶、大松あきら、四宮淳司、白戸太朗、富田幸博、
とや英津子、野川春夫、星大輔、宮地元彦
- 6 その他出席者 6名
（理事長） 塩見清仁
（常務理事） 小室明子
（理事） 延興桂、中川冷子
（監事） 飯塚幸子、中山正雄
- 7 議題（決議事項）
第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
第2号議案 会計監査人の設置に伴う定款の変更について
第3号議案 会計監査人の選任について
- 8 議事に至るまでの経過
定刻になり、評議員会を開会した。議長選出までの間、河野和久事務局長が進行役を務めた。冒頭、当評議員会は定款第19条第1項及び評議員会会議規程第8条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告した。

続いて定款第 18 条の規定により議長の互選を求めたところ、「富田幸博評議員を議長に」との推薦があり、出席した全評議員から「異議なし」の声があったため、富田評議員が議長に就任し、議長席に移動し議事を開始した。

9 議事の経過及び結果

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び決算について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、配付資料「令和 6 年度事業報告書及び決算書（案）」をもとに説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問)

事業について、定員に達していない事業もあるが、どのような周知を行って参加人数を増やす努力をされているのか。また、参加の統計の取り方として、人数だけでなく男女別や年齢別の統計も取っているのか。

(回答)

周知の方法に関しては、主にホームページやサイト、SNS などを用いて周知を行っている。都民の皆様が目につくよう、より一層広報については工夫して参りたい。統計に関しては、内部では把握している。

(意見・質問)

子供たちは思い切り運動したいのに場所がないという声がある。周知を工夫して多くの方に参加していただけるものとしてほしい。また、比較すると女性がスポーツにアクセスしにくいという統計もあるので、そのような方に向けた事業も行ってほしい。

駒沢体育館のリニューアルの内容を確認したい。

(回答)

障害者席やアメニティ席の増、段差の解消などを行った。

(意見)

稼働率が高い状況だが、逆の視点からいうとなかなか予約が取れないともいえる。利用時間の延長なども検討してほしい。

(回答)

イベントの準備や撤収のための時間に関しては、通常の利用時間に対し、夜間に行つて稼働時間を確保するなど工夫を行っている。子供の遊び場という点においては、東京体育館では陸上競技場のフットサルコートを近隣の保育園に開放し、遊び場として利用

していただいたりしている。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第2号議案 会計監査人の設置に伴う定款の変更について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問)

100億円を超えることになったための設置だと思うが、デフリンピックが終わった後はまた定款を変更するのか。

(回答)

必要に応じ、判断したい。

(質問)

会計監査人の不正等については、誰がどのようにして調べるのか。別団体で、会計監査人を解任したことがあった。会計監査人をどのようにチェックできるか。

(回答)

職務としては監事が行うこととなっており、監事が認めた場合ということになる。

(3) 決議

第2号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第3号議案 会計監査人の選任について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第3号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案

については可決した。

10 その他

その他、当事業団の運営等に関して議長から意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問)

デフリンピックのレガシーに関する記載がないが何かあるか。

(回答)

国際大会を開くノウハウを事業団内に残すこと。共生社会をつくるきっかけと大会がなるよう様々な取組を行う。

(質問)

デフリンピックの準備具合を簡単に教えていただきたい。

(回答)

様々な契約が必要になっているが、おおむね順調に契約を結べている。

(回答)

一般の方の観戦に加え、学校観戦等の準備も進めており、多くの方にデフリンピックを楽しんでいただきたいと考えている。

また、多くの企業からも協賛いただいております、様々な方のお力を借りながら準備を進めている。

(質問)

施設の稼働率は高いが、利用人数はコロナ以前に戻っていないということの原因は分析できているか。

(回答)

コロナによる生活変容やスポーツとの関わり方の変化などがあると想定している。コンソーシアムを組む各企業とともに様々な取組や仕掛けをしていきたい。

(意見)

多くのスポーツ施設がコロナ以前の状況に回復していない傾向があると思われ、コロナによるスポーツ離れが進んだと考えられるため、その原因の解明や元に戻すための取組を推進していただきたい。

以上をもって臨時評議員会の議事を全て終了したので、議長は終了を宣言し、16時05分、散会した。